



がっこう 学校だより

よこはましりつ しょうがっこう
横浜市立いちよう小学校
平成26年 3月号
2014年 2月28日

かんしゃ おも 感謝の思いをこめて

やわらかな陽射しが日一日と暖かさを加える季節になりました。
今年度も残すところ一ヶ月となり、子どもたちは一年間の学習のま
めに入ってきました。3月は別れと出会いの季節であると言われます。
いちよう小学校といちよう団地にとりまして、今年の3月はとりわけ寂
しい感じがいたします。41年の歴史があるいちよう小学校が閉校す
ることになったのです。



一昨年、飯田北、いちようの地域の皆さんは何度も会議を持ち、閉校・統合について話し合
いを重ねました。私は当時のPTA代表・折笠さんや菊池さん、郭さん、また連合自治会の
皆様が悩む姿をそばで見してきました。まさに苦渋の決断だったと思います。

そして、いちよう小学校と飯田北小学校の統合が決まりました。いちよう小学校としての
閉校は寂しいことですが、悲しいこととはとらえたくありません。私たち大人が、子どもた
ちの教育環境を整えたいと考えて判断したことです。統合する飯田北いちよう小学校に夢
と希望をもち、前向きに進んでいく子どもたちを心から応援したと思っています。

いちよう小学校の最後となったこの1年。しっかり話を聞く子どもたち、学校を信頼して
くださる保護者・地域の皆様、そして子どもたちに一層の学力をつけようと努力する教職員。
いちよう小学校の教育実践は、みんなが一体となって取り組むことができる学校だからこそ、
可能になったと考えています。

ここで教育活動の内容を申し上げるスペースはありませんが、いちよう小学校の実践は、
全国的にも注目され、多くのメディアでも取り上げられましたが、何より子どもたちが心も体
も大きく成長していると自信をもって言える取組がありました。

いちよう小学校で学んだ子どもたちは、これからも変わらず新たな環境で学び続けていき
ます。いちよう小学校がなくなっても、その姿勢は続きます。「話をし
っかりと聞く」「自分の考えを伝える」といういちよう小学校で学んだ子
どもたちのまっすぐな姿を、これからも引き継いでいってくれと信じ
ています。41年間、連合町内会を始め地域の皆様、卒業生、PTA、
横浜市教育委員会、そして、これまで数え切れないほどのご支援を賜り
ました、多くの皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

